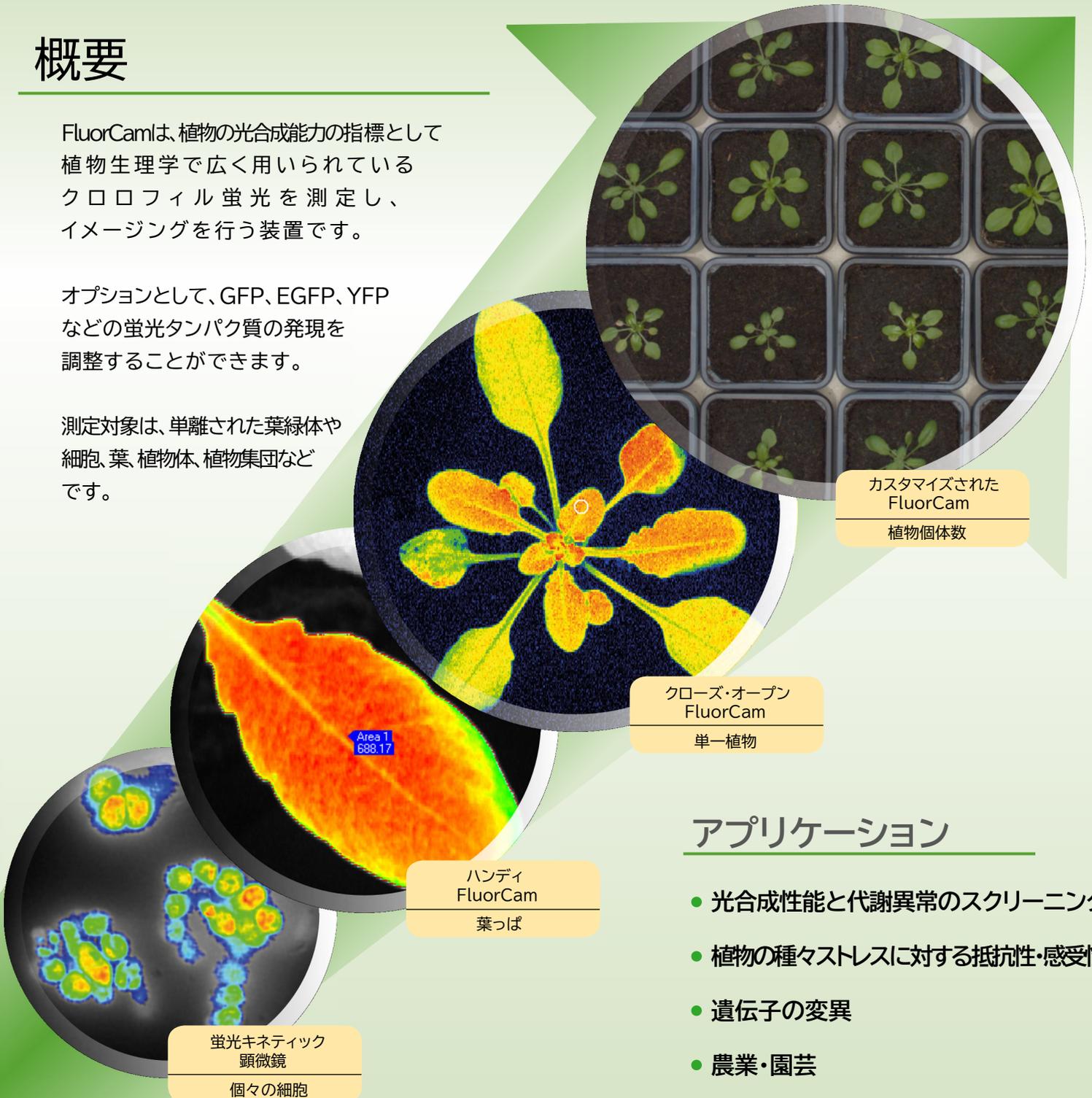


## 概要

FluorCamは、植物の光合成能力の指標として植物生理学で広く用いられているクロロフィル蛍光を測定し、イメージングを行う装置です。

オプションとして、GFP、EGFP、YFPなどの蛍光タンパク質の発現を調整することができます。

測定対象は、単離された葉緑体や細胞、葉、植物体、植物集団などです。



カスタマイズされた  
FluorCam

植物個体数

クローズ・オープン  
FluorCam

単一植物

ハンディ  
FluorCam

葉っぱ

蛍光キネティック  
顕微鏡

個々の細胞

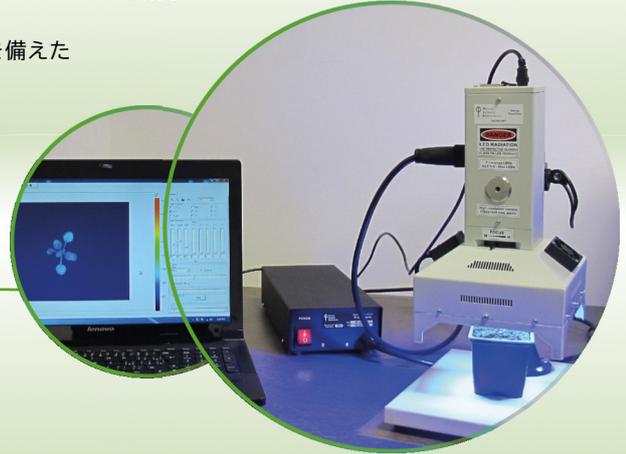
## アプリケーション

- 光合成性能と代謝異常のスクリーニング
- 植物の種々ストレスに対する抵抗性・感受性
- 遺伝子の変異
- 農業・園芸
- 成長・発達



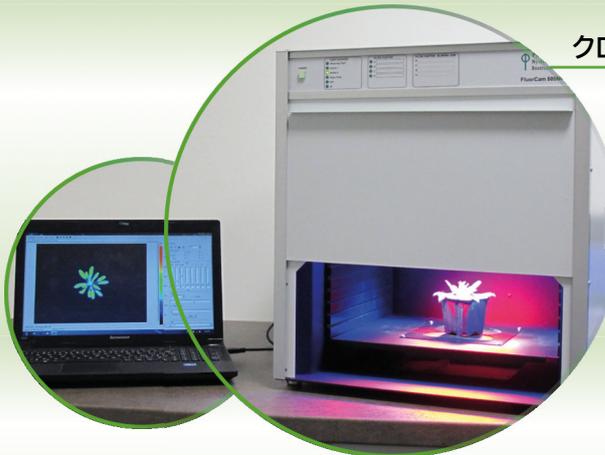
## 蛍光キネティック顕微鏡(FKM)

- クロロフィルやマルチカラーの蛍光イメージングにより、個々の細胞や細胞内構造を観察することができます。
- マイクロメートルの解像度で、個々の葉緑体やグラナストロマのチラコイドセグメントを観察することができます。
- 多くのアドオン拡張機能を備えた汎用性の高いシステム



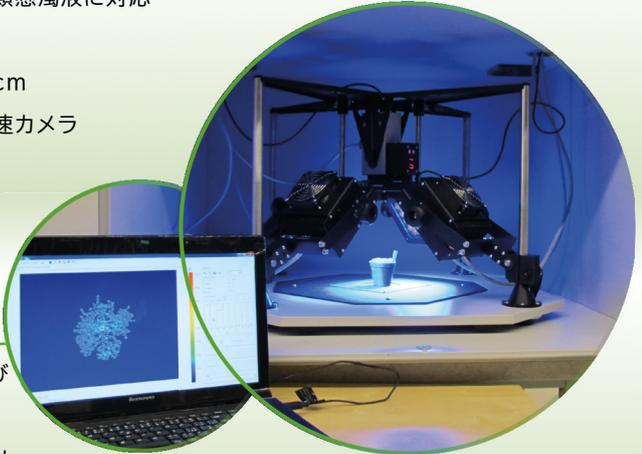
## ハンディ FluorCam FC1000-H、ハンディ GFP Cam FC1000-H/GFP

- GFPイメージングとクロロフィル蛍光イメージングの両方を可能にする独自の構造
- バッテリーパック式で、フィールドでもラボでも使用可能 - 葉や小さな植物、藻類のコロニーのイメージングに有効
- 撮像面積3×4cm、高解像度、高感度、高速カメラ搭載時



## クローズド FluorCam FC 800 -C/1010、FC 800 -C/1010-GPF

- クロロフィル蛍光イメージング、GFPイメージング用
- 小型植物、剥離葉、藻類懸濁液に対応
- 暗順応が可能
- 撮像領域 13 × 13 cm
- 高解像度、高感度、高速カメラ



## オープン FluorCam FC 800 -O/1010 FC 800 -O/2020

- マルチスペクトルおよびキネティック蛍光イメージング用
- マイクロタイタープレート、単葉、植物など、さまざまなサイズのサンプルに対応する柔軟なジオメトリー
- イメージング領域 13 × 13 cm または 20 × 20 cm
- 高解像度、高感度、高速カメラ



## カスタムメイドのFluorCam

- お客様のご要望に応えた複雑なマルチスペクトル画像処理システム
- 小さな植物から植物群まで
- 標準FluorCamの機能と特徴